

はじめに

令和５年度と令和６年度、本校は、言語能力や情報活用能力育成のための「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」として、研究活動を進めています。本校では、『子どもが主体的に取り組む授業をめざして ～自分の思いを豊かに表現できる子の育成～』を研究目標に掲げ、子どもたちにはその学習活動の中で、「必要な情報を効果的に集める力」「集めた情報を活用して課題を解決しようとする力」「集めた情報を、整理し、わかりやすく伝えることができる力」を高めてほしいと願っています。

本事業では、担当教員が学校図書館を活用した授業づくりに係る学校全体のコーディネートを行い、学校図書館司書・担任等と連携し、学校図書館を活用した学習モデルの研究に取り組んでいます。また、集めた情報を整理し、考える技法として「思考ツール」を活用し、自分の考えを書くための「情報カード」の見直しを行い、授業づくりを進めています。

また、図書をつかった情報活用能力を育てるためには、本が好きになる、読書が好きになる仕掛けが必要であり、校区幼稚園、各家庭への啓発に努めるとともに、連携した「本好きな子ども」を育てる取り組みを進めています。

今回の公開授業を実施するにあたり、校内研修、指導案検討会等を重ねて準備を進めてまいりました。しかしながら、まだ道半ばであり、他校の教職員の皆さま、関係諸機関の皆さまにご指導・ご助言いただくこともたくさんあるかと思えます。皆さま方の貴重なご意見・ご感想を励みとし、今後の本事業の推進に役立たせていただきます。

最後になりますが、本研究には 大阪大谷大学 教育学部 教授 今宮 信吾 氏 並びに 羽曳野市教育委員会の多大なご協力並びに指導助言をいただいておりますことをこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

令和６年１０月
羽曳野市立埴生南小学校
校長 坂 井 宏 志